

NEWSLETTER 第17号

ボランティアセンター登録者数、ボランティア参加者数の推移

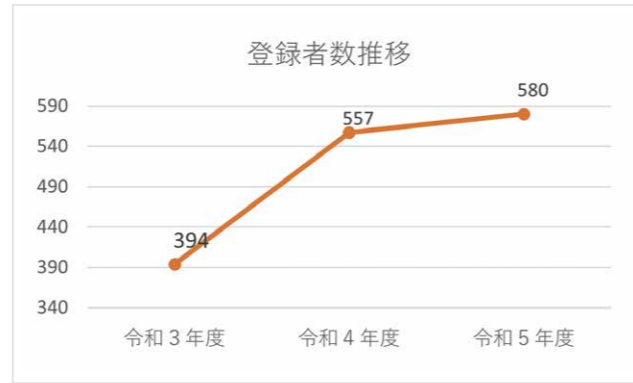
右記のグラフは当センターに登録している学生数と、活動への参加者数を過去3年間集計したものです。

登録者数は、令和6年1月29日現在で、580名。今年度は昨年度よりも登録者数の増加がみられました。

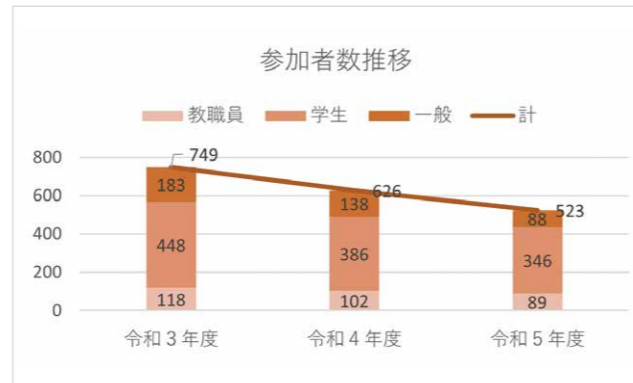
本学在学学生数(6,965名)に対する登録率は8.3%となり、昨年度の8.0%より若干増加した一方で、1年間の延べ活動参加者数は、教職員89名、学生346名、一般市民88名で合計523名となっており、昨年度よりも減少しています。

そうした中でも、地域の方や児童との交流に関する活動への参加申込が多く、時には申込定員を超えることがありました。加えて、令和5年7月に発生した大雨災害により大きな打撃を受けた秋田県五城目町での災害派遣ボランティア活動には、県外での活動にも関わらず延べ約30人がこの活動に参加しました。昨年度同様、地域に貢献する活動をしたいと思っている学生は少なくないと考えられます。

今年度は登録者数の増加が見られましたが、今後もより積極的な周知活動と学生らにとって参加しやすい環境をつくることが課題となります。ボランティア登録率10.0%の水準達成を目指すとともに、子どもの居場所づくりや除雪活動などニーズの高い地域活動に、より積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導・ご協力の程よろしく申し上げます。



①ボランティア登録者数グラフ



②ボランティア参加者数グラフ

第2回野田村支援交流活動「野田村クリスマス会」を開催

弘前大学地域創生本部ボランティアセンターでは、令和5年12月23日(土)に野田村支援交流活動として「クリスマス会」を開催しました。

当センターでは、東日本大震災発生直後から野田村へ赴き、支援交流活動を実施してきました。今回の交流は、岩手県野田村にある野田村生涯学習センターで実施され、本学教員1名、ボランティア学生8名、野田村の児童11名の計20名の参加がありました。

クリスマス会では、初めに弘前市のストリートダンススタジオFUNKY STADIUMのインストラクター2名によるダンス

パフォーマンス及びダンスレッスンが行われ、参加者全員で体を動かしながら、楽しく有意義な時間を過ごしました。

ダンスレッスンの後は、ビーズや布、リボンなどを利用した写真立て作りを行いました。児童たちは、学生ボランティアの説明を聞きながら、思い思いに材料を組み合わせる写真立てを製作していました。交流活動の他、クリスマスプレゼント配布も行われ、子どもたちは大変喜んでいました。

当センターでは、交流活動の継続的な実施によって、震災の記憶を風化させず、継承することを目的として野田村支援交流活動を継続していく予定です。



写真立て製作を楽しむ児童



ダンスを楽しむ児童



集合写真

ボランティアへのご参加、募集等について

ボランティアへの参加について

ボランティアに関心をお持ちの方は下記までお問合せください。

- ・弘前市民の方・・・ひろさきボランティアセンター TEL：0172-38-5595
- ・弘前大学関係者・・・弘前大学地域創生本部ボランティアセンター E-mail：huvvc@hirosaki-u.ac.jp

学生ボランティアの募集の周知依頼、派遣依頼

学生ボランティアを募集したい団体からの周知、派遣要請を受け付けております。詳しくはボランティアセンターのホームページをご覧ください。センターへ直接お電話等でご相談ください。(※各種申請書類提出後、団体登録の可否、ボランティア要請の審議をさせていただきます。審査等に期間を要しますので、余裕を持って登録申請等行っていただきますようお願いいたします。)

- ・弘前大学地域創生本部ボランティアセンター TEL：0172-39-3268 平日午前10時～午後3時



HP
https://huvvc.net/



Let's Try!!
ボランティア参加学生の声をお届け



X



Instagram

第1回市民ボランティア講座「学習支援の輪を広げるために」を開催

弘前大学地域創生本部ボランティアセンターでは、一般社団法人みらいねっと弘前と共催で、令和5年9月21日(木)、今年度1回目となる市民ボランティア講座「学習支援の輪を広げるために」を、人文社会科学部4階多目的ホールで開催しました。

本講座は、よりよい子どもの居場所をどのように作り上げていくかを語り合うことを目的として開催され、子ども食堂の運営者や行政関係者、大学生など、計25名が参加しました。

前半では、「無料学習支援の必要性と可能性～八王子つばめ塾の実践をとおして～」をテーマに、認定NPO法人八王子つばめ塾 理事長兼事務局長 小宮 位之 氏が基調講演を行い、家庭環境や経済状況と子どもの進学状況との関係に触れながら、つばめ塾設立の経緯や、講師からボランティアの精神を学んだ子どもたちが将来講師として同じ場に戻り、思いやりの心を持つ子どもを育てていくというサイクルを作ることの重要性について述べました。

後半では、まず青森家庭少年問題研究会共同代表兼青森明の

星短期大学教授 最上 和幸 氏から、大学生が児童へ学習支援を行う「青森サタディ☆くらぶ」の活動に関する報告、続いてよこちキッズぶれいす代表 小野 康一郎 氏から、学習や遊びに共に取り組むことで児童の居場所づくりを行う「よこちキッズぶれいす」の活動に関する報告がありました。

最後に、李ボランティアセンター長をコーディネーターとして、小宮氏、最上氏、小野氏による「学習支援の現状および支援の輪を広げるための課題」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、パネリストからは活動資金・場所・時間・スタッフや後継者の確保が課題であるという話がありました。また、参加者からは、子どもの居場所づくりのためにどのような取り組みや支援ができるのかなどの質問があり、パネリスト・参加者双方でよりよい子どもの居場所をつくるために必要なことを真剣に考える時間となりました。

当センターでは今後も地域課題解決に資する様々な取り組みを行っていく予定です。



小宮氏による講演の様子



パネルディスカッションの様子

第2回市民ボランティア講座「避難所運営訓練 in 弘前大学」を開催

弘前大学地域創生本部ボランティアセンターでは、令和5年11月26日(日)に弘前大学 学生会館 3階大集会室において、今年度2回目の市民ボランティア講座「避難所運営訓練 in 弘前大学」を一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと及びGECM_netと共催で実施しました。

本講座は、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営訓練を通し、弘前大学の学生や地域の方々と一緒に、要配慮者への支援の仕方考えながら避難所づくりや避難者受入の体験を実施し、「誰一人取り残さない」地域防災を学ぶ防災教育プログラムとして実施しました。当日は学生3名、市民20名、その他ボランティアスタッフ等を含む計42名が参加しました。

本講座は、3部構成となっており、第1部のオリエンテーションでは、一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとと代表理事 小山内 世喜子 氏による講話があり、男女共同参画の視点からの避難所運営に関するポイントについて説明がありました。

第2部の班別訓練では、様々な避難者を想定した避難者受入

訓練の後、「総務・情報班」「乳幼児世帯班」「救護班」「施設管理班」に分かれ、実際に避難所づくりに使われるテントやパーテーション、段ボールベッド等の組み立て、避難所運営のためのスペースづくりを体験しました。訓練時は、高齢者、外国人、身体の不自由な方、乳幼児世帯の方など様々なケースを想定し、避難所を利用する方に関してどのような点に配慮すべきか、異なる立場の参加者同士で考えを出し合いながら避難者受入や設営を進めていきました。

第3部では、各班より設営時に気を付けた点を共有し、各自で設営された各スペースの見学を行いました。加えて、簡易トイレや避難所での毛布の使い方も紹介され、参加者は、要支援者に合わせ区切られたスペースや各種物資、避難所全体の様子等を熱心に観察していました。様々な体験の後、「自分の立場では分からないような、年齢や職業、性別などが異なる方の意見を知ることができてよかった」「知らない人同士でも協力しあうことが大事だと思った」「学んだことを今後

活かしたい」などの感想が聞かれました。

最後に、小山内代表理事から、災害時に大事なこととして「自分の命は自分で守る」とことや「互いへの思いやりを忘れない」とこと、また「性別にとらわれずひとりひとりの能力を認め合い活



段ボールベッドの組み立て作業の様子

かしあう」ことなどが挙げられ、本講座は幕を閉じました。

災害に関する知識等を継続して学ぶことが重要であるため、当センターでは今後も継続して、地域の方々と共に防災についての体験ができる場を作りたいと考えています。



総務・情報班のルールづくりの様子

学習支援事業を実施しています

当センターでは、子どもたちへの学習支援事業として、「学習支援教室あつがる〜む」「子ども食堂学習支援ボランティア」をはじめ、市内外の子どもの勉強のサポートやおしゃべりなどを通し、子どもたちの居場所づくりを行うことを目的としたボランティア活動を対面で行っております。

また、ミーティングアプリ「Zoom」を利用して、弘前市内外の子どもの勉強や子ども食堂と大学生をつなげ、小・中学生を対象に、放課後の居場所づくりや学習時間の確保をすることを目的に「Zoomおんらin」を実施しています。

スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかがあれば学習会場だけでなく、自宅から個人での参加も可能です。

詳細や、利用希望については当センターまでお電話かメールでご相談ください。

▼大学生ボランティア大募集中!

学習支援事業参加学生ボランティアを募集しています。子どもたちの学習習慣を確立するためには、毎週定期的な学習会の開催が必要となるため、多くの学生ボランティアの皆さんの協力が必要です。

本事業に興味のある方は是非、ボランティアセンターへご連絡ください。

ポケットWi-Fiレンタル、ホワイトボード等必要物品の貸出を行っており、参加前にはオリエンテーションもありますので、初めての方でも安心してご参加いただける環境を整えております。

詳細はホームページをご覧ください。



オンライン共同学習会 学ぼう! Zoomおんらin

Zoomを使い、オンライン共同学習会を開催します。大学生がわからないところをお手伝いしてくれます。また、「ほっとひと息つきたい」「宿題のわからないところを見て欲しい」なんて人も大歓迎! 毎週開催しているので、ぜひ気軽に参加してください!

日時 毎週水曜日 16:30~19:00	場所 Zoomテレビ会議 おうちでテレビ会議を使い、大学生と一緒に宿題・勉強をしよう! ※オンライン(Zoom)テレビ会議のホスト(主催者)となります。
対象 ・大学生と一緒に勉強したい人 ・勉強のきっかけを探している人 ・おうち時間を有意義に過ごしたい人 など	参加方法 申込み・参加費は不要です。ZoomのミーティングIDとパスワードで参加できます。 ミーティングID: 352 106 4646 パスワード: 393268

※オンライン共同学習会に参加したい方は、各自Zoomアプリをダウンロードしていただく必要があります。
※参加についてわからないことがある場合はお気軽に下記の連絡先へお問合せください。

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター (文京キャンパス学生会館2階)
TEL:0172-39-3268 / FAX:0172-34-5251
Email: huvc@hrosaki-u.ac.jp / URL: https://huvc.net



©2023 弘前大学